

令和7年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立和庄小学校
(和庄中学校区)

全国平均値との差

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|----------------|-------|------|-------|
| 呉市教育振興基本計画〈指標〉 | +6.0 | +5.0 | |
| 令和8年度 | - | - | - |
| 令和7年度 | +1.2 | +7.0 | +0.9 |
| 令和6年度 | +4.3 | +5.6 | - |
| 令和5年度 | +0.8 | -4.5 | - |
| 令和4年度 | +12.4 | +7.8 | +12.7 |

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

| | |
|--|---|
| <p>国語</p> <p>言葉の特徴や使い方</p> <p>本校 $\frac{68}{66.8}$ % 全国 県 $\frac{69}{66.8}$ %</p> | <p>重点課題</p> <p>◎◇目的や意図に応じて、文章全体の構成を捉えて要旨を把握することに課題がある。(設問3二(2))【読むこと】(正答率48.1%)</p> <p>◎目的に応じて、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることに課題がある。(設問三(1))【読むこと】(正答率48.1%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎伝え合う内容について、「比較する」「関係付ける」などの思考スキルを用いて、情報を収集したり、読み取ったり、関連付けたりする学習活動を行う。</p> <p>◎文章の中から必要な情報を見つけるために、取舍選択したり、整理したり、再構成したりする場面において思考ツールを用いて情報整理を行う。</p> <p>◇文章を読み、目的を意識して構成を捉え、筆者の主張や必要な情報(中心となる語や文)を丸で囲んだり、サイドラインを引いたりして視覚的に捉えた上で、決められた文量の中で要約する活動を設定する。</p> <p>国語科の学習のみならず、多くの文章に触れる機会を設け、語感や言葉の使い方に関する感覚を養う。(読書・長文読解等)</p> <p>検証</p> <p>◎◇全国学力(設問3二(2))(第5・6年,1月)目標70%→結果62%</p> <p>全国学力(設問3三(1))(第5・6年,1月)目標70%→結果59%</p> |
| <p>算数</p> <p>数と計算</p> <p>本校 $\frac{65}{58}$ % 全国 県 $\frac{59}{58}$ %</p> | <p>重点課題</p> <p>◎分数の加法について、共通する単位分数を見だし、加数と被加数が共通する単位分数の幾つ分かを数や言葉を用いて記述することに課題がある。(設問3(2))(正答率14.8%)</p> <p>◇日常生活で「10%増量」「30%引き」などの百分率が用いられている場面において、基準量と比較量の2つの数量の関係を捉えることに課題がある。(設問4(4))【変化と関係】(正答率33.3%)</p> <p>◇図形における基本的な事柄を理解することに課題がある。【図形】(正答率55.6%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎言葉と図、式を結び付けて考えを表現させることを積み重ねるとともに、既習の内容と統合・発展しながら数学的な見方・考え方を育むことを意識した授業を行う。また意図的に分数(単位分数をもとに)にふれる機会を増やす。</p> <p>◇言葉と図、式を結び付けて考えを表現させることを積み重ねるとともに、既習の内容と統合・発展しながら数学的な見方・考え方を育むことを意識した授業を行う。</p> <p>◇問題を解く過程に注目し、自分がなぜこのように考えたのか説明する活動を設定する。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3(2))(第5・6学年,1月)目標70%→結果40%</p> <p>◇全国学力(設問4(4))(第5・6学年,2月)目標80%→結果35%</p> <p>◇全国学力(設問2(4))(第5・6学年,2月)目標80%→結果43%</p> |
| <p>理科</p> <p>エネルギー</p> <p>本校 $\frac{58}{57.1}$ % 全国 県 $\frac{59}{57.1}$ %</p> | <p>重点課題</p> <p>◎顕微鏡を操作し、適切な像にするための技能に課題がある。設問3(2)生命・地球(全国平均との差-12.4)(正答率33.3%)</p> <p>◇アルミニウム、鉄、銅について電気を通すか、磁石に引き寄せられるかそれぞれの性質に当てはまるものを分類することに課題がある。(設問2(1))【エネルギー・粒子】(正答率15.4%)</p> <p>改善の方策</p> <p>◎授業において、全員が顕微鏡に触れ操作する時間を確保する。また、教室や理科室等で顕微鏡をできるだけ常設し、低学年から顕微鏡に触れる機会を増やす。また、基礎的な知識を定着させることを意図した学習を行うようにする。</p> <p>◇基礎的な知識に関わる実験などの経験を重ねさせるとともに、新しい学習課題に取り組む際に、既習内容や生活経験をもとに結果を推測する習慣を身に付けさせる。また、単に知識として習得させるのではなく、学習内容を生活場面と結び付けて捉え、活用させるようにする。</p> <p>検証</p> <p>◎全国学力(設問3(2))(第5・6学年,12月)目標60%→結果96%</p> <p>◇全国学力(設問2(1))目標80%→結果94%</p> |

【来年度に向けて】国語科・算数科の検証問題について目標に達することができなかったが、国語科及び算数科の分数に関して前回結果からの向上が見られた。特に算数科の【変化と関係】・【図形】において課題が残った。算数科においては、割合につながる学習(用語理解・数直線図等の活用等)及び、図形領域の基礎的な内容の習得を大切にしていきたい。